

2024年 6月 15日

YYYY/MM/DD

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

To: President, Japan Society for the Promotion of Science

研究活動報告書

Research Report

1. 受入研究者/ Host researcher

受入研究機関・部局・職

Name of Host Institution, Department and Title

東京大学・生産技術研究所・教授

受入研究者氏名

Host Researcher's Name

岸 利治

2. 外国人招へい研究者/ Fellow

所属研究機関・部局・職

Name of Institution, Department and Title

Karolinska Institutet, Professor of Virology

外国人招へい研究者氏名

Fellow's Name

MASUCCI Maria Grazia

3. 採用期間/ Fellowship Period

2024年 3月 17日

~

2024年 4月 19日

4. 研究課題/ Research Theme

Analysis of Nipah virus pathogenicity via host ubiquitin proteasome system

5. 研究活動報告/ Research Report

(1) 研究活動の概要・成果/ Summary of Research Results

ニパウイルスの非構造タンパクである C タンパクが宿主因子の脱ユビキチン化酵素と結合しその機能を阻害することにより、ウイルスに有利な状況を作り出しているという我々の実験データを共有し、今後の研究方針について議論を行った。また招へい研究者は学内で2回のセミナーを実施し、ウイルスと宿主タンパク分解機構との関連やその機序について、学生や研究者との意見交換を行った。

(2) 主な研究発表(雑誌論文、学会、集会、知的財産権等)/ Main Research Publications

- “Viral ubiquitin deconjugases- Swiss armu knives for infection”、第11回 OHOW 公開講演会、東京大学 生産技術研究所
- “Remodeling of the host-cell environment by oncogenic herpesviruses”、外国人招聘研究者特別講演、東京大学伊藤国際学術研究センター内の「伊藤謝恩ホール」

(3) その他/ Remarks

特になし

(注) 採用期間終了後3ヶ月以内に提出

(Note) Submit the form within 3 months after the expiration of fellowship.

様式1に記載された情報を元に確認しますので、部局名等の名称含め、内容に誤りが無いか必ずご確認ください。